川口町公民館報

公民館報

第27号

編集人 関 平吉
発行人 真島五郎
印刷所 山勝堂印刷所

年頭の辞

川口町長 関口淳治

新年おめでたう御座います 昨年は待望の町制施行が成り石油資源開発事業も一号、三号、五号井が全国稀な大噴油をなし町勢が益々発展いたしましたことは町民各位の御協力の賜と偏に感謝する次第であります。

一方財政事情は必ずしも豊かとは申されませんが町営住宅二十棟の新築、木沢小学校の増築、東部簡易水道工事、県道八丁土手の改修工事等の竣工、町道相川口、内ヶ巻停車場線の着工、上川土地改良（鋼田）事業の着工等関係諸官庁の御援助と町民各位の御協力により公共事業が着々と進歩いたしましたことは誠に感激に堪えない所であります

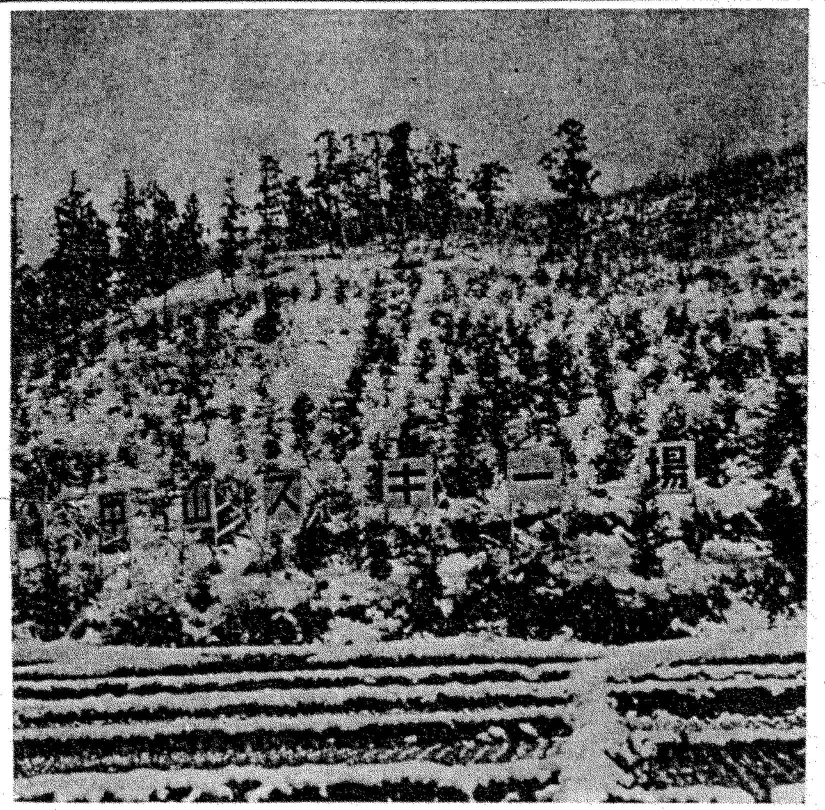
本年は懸案中の川口、西川口、和南津三小学校の統合に重点を置いてその実現に邁進したい考でありますが関係校区民各位の公平無私な判断の下に一日も早く位置の決定をお願すると共に財政的にも非常な無理な事もあると思われますので公共事業、補助事業等の抑制、一般町費の節約に特段の御協力をお願する次第であります。

尚八郎場附近の電源開発事業も調査の段階には入っておるのでこれが促進を期すると共に荒谷地区砂防工事の実現石油開発受入態勢の確立等町勢の伸展に努力したい考であります。

以上簡単ではありますが所懐の一端を述べて新年の挨拶といたしますが新町村の建設に何分とも御援助御協力あらんことをお願いいたします。

一月十五日 成人の日

川口町の成人式は五月三日の予定



明けゆく町 雄大なる自然の美しさの中に造形された中山スキー場駅より約20分離れたる一日スキーを滑べらせれば金銀波打ち起伏数多にして時たま走り行く兎を追う時さながら深山幽谷の感をいだかせスキー場としての価値及び自然の美しさは全く県下にその類を見ず新町発展の一角を築くものと思う

農業振興策について

川口町農業協同組合長 星野藤一郎

町の産業の発展は、農、工商共に発展してこそ其の成果が見られる、川口町の人口の比率を見るに、其の七割が農であり従って農業の発展が町の産業革命に如何に、大きな仂をなすかは知るべしだ、石油ガスを利用しこのガス化学の誘致とか春の花、冬のスキーを利用しこの観光客の招聘等に比しては農業振興策は非常に地味である。然し其の地味な仕事が重なり合って実を結ぶものと考いられる。

扨て旧来の米作りの一本農業は、にぶって来ている。最もそれだけでは農家経済を向上させる訳にはゆかぬ。そこで酪農熟や園芸熟など、もうかる商品生産農業への熱意が高まって来ている。養蚕は半商品生産農業と言い得るが未だ完全とはいいぬと思う。それは適地、適産的に分化した地域単位の集団生産農業を発達させなくてはならぬと思う商品生産は先ず品質がよくて生産費が安いものの生産でなければならぬがそれはどうしても適地、適産である。適地適産は地域単位の集団生産になる。集団生産は経営改善計画、生産手段の入手、生産技術の改良、農産物の販売などの面で個別的生産より遥かに有利である。然るに篤農家とか精農家と呼ばれると、過去は非常に立派に見えた、それは個別的生産時代にはそうかもしれぬ、過去の篤農家とか精農家は自分一個の為、自分個人の為のガリ／＼主義時代の遺物であると言っても過言ではなかろう。勿論、精農でなければならぬが個々の農業であっては、今日の農業振興は出来ぬと考える。（続く）

町に公立保育園を

厚生省が各地に設立している公立の保育園を我が町にも早急に設立するよう運動すべきではないだろうか。現在宝保育園が大淵園長さんを初め関係者が献身的努力をなされていることは感謝に堪えませんこれを益々発展成長させるために、立派な施設を与えねばならないと痛感するのであります。

隣町堀之内町にモデル式な立派な施設を見て一層その感を深くするのであります。

次に保育園の意義について申し上げて見たいと思います。仂く母親の手だすけの役割をするように考えられ勝ちであるが、たとえ母親の手が十分ありあまってもやはり毎日の内何時間かを園ですごすことがのぞましいのであります。ここは必らずしも知識を与えるところでない、礼儀を教えるところでない、子供達を新らしい集団内にくみ入れるところなのであります。子供達に理くつでなく、自分というものを悟らせ、のぞましい自覚の芽をのばすところなのであります。子供の精神は保護されること指示されることのみによって育つものではありません。子供達の自己中心性の克服は、平等な仲間たちの衝突や協力によってはじめてなりたつので一番の意義はここにあるのであります。又保育園は抑圧を去る場所だと云われています。子供達は家族にあって母や父の禁止によって欲望を抑圧されそれが「コンプレクス」（不平になっている。）一日のうち何時間かを自由にあばれさせ、その行動を一解放することによって「コンプレクス」をなくし、将来自然に協調的な態度ができるところに淀みなく現れる下地をつくるというのであります。そこで保姆は親がわりの権威になり親と異ったやさしい融和的な権威となることによって子供の権威えの攻撃をよわめる。問題が個人的なものから広い視野に移っていく、家庭ではできない教育が、即ち如何に優秀な家庭教師を雇って、金にめをつけずに高価な玩具を多く与えても出来ない教育が保育園では可能になるのであります。（宮木喜一郎）

役場の窓口から ①

総務課

総務課の事務のうち皆さんに一番関係の深い戸籍からお話します

1、戸籍に関する届書には届出の期間がありますから注意して下さい

● 出生届（生まれた日から十四日以内）

● 死亡届（死んだ日から七日以内）

この二つの届出先は必ず生まれた所、死んだ所の役場となっています

● 婚姻届（期間はありませんがなるべく早く）

● 養子縁組届（養子が未成年の場合家庭裁判所の許可証必要）

● その他の届は期間はありませんが係員にきいて必要書類を用意して下さい

尚右の各種届出書のうち戸籍の謄抄本については一枚四十円、その他は一枚につき五十円の手数料又は代書料を必要とします

（次号へ続く）

謹賀新年

川口町議会議員（イロハ順）

議会議長	山田寅之助
総務委員	江畠浩平
社会文教委員	星野武夫
産業土木委員	星野多一
総務委員	大淵寅松
総務委員	小見芳雄
産業土本委員	小川忠作
産業土木委員	渡辺文次郎
総務委員	横田正久
産業土木委員長	綱 治平
総務委員	山田健吉
社会文教委員	内山長三
産業土木委員	古田島慎勇
振共会長産土委員	小宮山賢吉
社会文教委員長	青柳 弘
総務委員長	佐藤角一郎
社会文教委員	笹崎勝多郎
産業土木委員	喜多村登人
社会文教委員	目黒寅吉
社会文教委員	関 亀太郎
総務委員	鈴木正平
社会文教委員	鈴木松次

教育委員会

委員長	河上徳太郎
副委員長	大淵清治
教育長	真島五郎
委員	関 平吉
〃	鈴木六郎

歳末に咲いた社会福祉の花

生活扶助はどう人を生かしたか？

扶助を受けて育った S子さんの眞心

クリスマスの小づかいを今貧しき人々へと

社会福祉と呼ぶうつくしい政治の名も、これがどう運営され、どのように人々の運命に影響を与えていくかいたずらに依頼心を助長するという非難もあろうが、要は、その受けとる人々の受け方にあるのではないか ここに公開するみじかい手紙は、この問題に一つの答えをおくるものではなかろうか。

その頃の母の言葉が身にしみると S子さんのお手紙

拝啓

私はちいさい時貧しかったために社会や役場の助けをうけて育ちました。母から、世の中から頂く尊いお金だからぜいたくにつかっては申わけない、この恩は一生心に置いて世の中に御恩返しをしてくれといわれました。

私はまだわずかな収入しかありません、これはほんの少しですが職場の人達とクリスマスに遊びにゆく小づかいですどうか今貧しく困っている方々にあげる中に加いて頂ければ幸でございます。

十二月廿三日夜 S子

町長様

× ×

この手紙は歳末の役場職員、民生委員に多大なる感銘を与えた。

× ×

社会課長 佐藤精一談

常に恩返しをするようにと云った母及びこのおしえを守ってわずかの収入から寄附された篤行に対しては胸に迫るものがあり、町の人がみんなこの気持でいればぐっと明るい川口町になることを確信します。

拡充される 電話施設!!

従来川口、西川口、和南津地区にしか電話施設がなく他の地区においても以前からせめて公衆電話一個でも設置して欲しい……との声が強く叫ばれていたが、昨年暮相川地区、川口農協相川支所に待望の公衆電話（四九番）が開通し、部落民から非常に喜ばれているが、更に今年は木沢地区にも同様の公衆電話が設置されることが内定し、部落民はもとより関係者を喜ばせている。

既に現地の測量も終り、上部機関の工事命令を待っている段階にあるが、降雪期に入ったため工事の施行は雪が消えてからと思われるので、開通もおそらく五、六月になるだろうと、地元郵便局では語っていた。

更に又、牛ヶ島地区にも早急に設置してもらうよう郵便局側と町当局が一体となって上部機関に対して運動を起している外、田麦山地区の電話が現在川井局の加入区域のため、市外通話料を払わなければならないことと、待合時分が長い等いろ／＼の不便があるので、これを川口局に編入し、一挙に解決して欲しいとの加入者からの強い要望に対しても、近い将来必ずこれを実現されると局側や町当局では張切っている。（川口局提供）

星野亀吉氏病む

木沢公民分館長

本誌に川口村郷土誌を連載しその深い研究は識者のひとしく認めて居り、たゆまざる努力は高く評価されていた木沢の星野亀吉先生が昨年秋以来血圧が高く静養している。

月に一回位は静かに学校附近を散歩することを何よりのたのしみにしている。随って古代史の研究も執筆も昨年秋から中止している。私達は氏が一日も早く快復して再び郷土誌を執筆して下さる事を祈りたい。

公民館に専任職員を置け

公民館という名が新しいひびきを持って私達の耳目を引き、各地に公民館が設置されてすでに十年余となった。より住みよい社会を自分達の手で作ろうという気運が公民館を生んだのであり、教育は子どもが学校で受ければよいものとしていた概念では、変転多い現社会に取り残されてしまうという大人の自覚が、社会教育の必要を強く認識させるに至ったのである。

社会教育とは住民一般の教育のことである。過去（戦前戦中）の青年団や婦人会の活動は、その時代の要請によって行われていた社会教育ともいえるが、天下り的な盲従的なそれは果して住民の幸福をもたらしてくれたであろうか

公民館は社会教育の拠点である。しかも、かくあるべしと中央や他からの圧力や指令によって動ずることのない本来自主性を持つ拠点である。従って拠点がグラついていては、それをとり囲む各種活動の活発化はおぼつかないものとなり。一面自主性という観点からは住民一般の自覚と協力、運営面の充実がなければその成果は約束出来ないわけである。

さて、町制を施行し、天下にその名を高めつゝあるわが川口町の社会教育の現況はどうであろうか。時あたかも年頭であり虚心にこれをふり返ってみることも意義あることゝ思う。婦人会や青年団はいかに活動しているか公民館そのものの活動は満足すべきものであるかということである

結論からいえば、その事に当っている者はよく苦闘し、責を果しているが、その団体や機関が、有機的な機能として住民一般に仂きかける力はまことに弱いといわなければならない。これにはいろ／＼の原因が考えられるが、最大のものは公民館に専任職員（主事）がいないことであろう

現在は雑務の多い学校教育関係の仕事を兼務しているが これでは如何に有能の士もその職についていたとしても片手間仕事にならざるを得ない

社会教育の本務に専念し、各種団体のかけ橋として連絡の労をとったり、じっくり腰をおろして振興策を企画し、実践していくわが町の社会教育の中核的存在――公民館の専任職員（主事）の設置をここに強く要望する次第である。

四囲の各市町村に於てはすでに、みなこれが設置され成果を挙げている。ひとりわが川口町のみ設置されておらずこのような状態では社会教育の振興をいかに絶叫したとしても空念仏に終ってしまうわけである。大川口町の進展のため、町民の資質向上のため専任職員（主事）の設置をこのような見地から再度強調したい。

シスターボーイやカリプソ娘にあ然としていた口のふさがらない間に、天空はるか人工衛星が行き交う世の中となった。新しい時代の夜明けである。営々として築いて来た数千年来の人類の生活文化は今、大きく転換しようとしている。私達はこの新らしい時代の思潮やモラルの中で、新しく生きていくためにも、つねに旧い頭の中に新しい空気を送りこむ努力を忘れてはならない。社会教育の振興が要請される由因の一つもここに大きく考えられなくてはならない。

（内藤兼郎）

★ ☆ ★ ☆

田麦山も是非市内電話にして下さい!!

川口町も既に合併をして、四年を経過し五年目の新春を迎いまして、益々発展の途上にありますことは慶びに耐えません。

この間幾多の事業がなされ新町村建設に寄与していることは皆様御承知の通りであります。殊に昭和三十二年に於ては八月一日に町制が施行され田麦山地区に於ては着々と石油の試掘がなされ一号井、三号井、五号井の石油産出量は新聞ラヂオ、テレビを通じて報道され町民各位の周知の通りであります。

しかしながら電話の関係のみが不合理な所があります。旧川口村の各部落には三十二年度に電話が敷設されましたことは有難いことですが旧田麦山のみが市外電話で、一々本庁に電話する際でも十円何がしの通話料金を支払っている様な状態です。町民の各位より良く次の事を考えて頂きこの矛盾した不合理性を一日も早く解消して頂き度いと思う次第です。

何となれば電話は小千谷の電報電話局管内で田麦山より川口に電話する場合は市外川口何番と言う状態でしかも小千谷と通話する時でも通話料金も市外と同様な方法です。次に郵便通信の集配は田麦山は勿論川井地域（新小千谷市内）の戸屋冬井方面までも川口郵便局が集配区域になっている次第です。

電話は小千谷郵便通信の集配は川口という矛盾した事が一体あり得るでしょうか実際に川口行政はこれをやっております。

町民の皆様の御協力により田中郵政大臣在任中に田麦山の電話は行政区域である川口郵便局の市内電話に直して頂く様お願いしたいものであります。

オメデタ

小千谷市塩谷 木沢	関 精一郎 小林 美恵
東京都墨田区向島 川口	武田 孝 金子 クミ
東京都豊島区 川口原新田	関口 利夫 小宮山 加代
小千谷薭生 相川	和田 寅太郎 広井 ミイ
相川 〃	広井 政市 広井 律子
西川口 小千谷市薭生	真島 英男 丸山 トミ
中山 広神村東中	桐沢 朝吉 大羽賀 キチ
小千谷市真人町 中山	阿部 久栄 大淵 ケサ
相川 小千谷市南荷頃	広井 松雄 平沢 恒子
川口 西川口	星野 弘 小西 マサ
西川口 北海道紋別郡与部町	小宮山 勉 村上 サチ子
相川 西蒲原郡吉田町	広井 清松 諸橋 マスイ
中山 中魚沼郡津南町	星野 淳作 根津 スミ子
西川口 小千谷市片貝町	岡村 栄 安達 和子
峠 古志郡東竹沢	星野 茂一 五十嵐 初枝
秋田県大館 荒谷	佐藤 武雄 宮 俊子
新潟市古町通 相川	仁多見 正夫 石坂 ミツ
川口 神奈川県箱根町	上村 孝 横溝 るり子
荒谷 長岡市蔵王町	宮 五門 森沢 初栄
川口 福島県大東村	石森 久男 横田 澄子
川口 山形県平田村	中林 吉太郎 斉藤 久子
相川 〃	広井 忠 広井 菊江
千葉県南総町 川口	目黒 文規 目黒 スミ
東京都港区 木沢	野沢 信吉 小林 八重
小千谷市塩谷 峠	星野 恒弘 友野 操
川口原新田	小西 俊雄
神奈川県相模原市田名江	成作 紀子
峠 小千谷市南荷頃	星野 勝一 広井 テイ

謹賀新年

川口町長 関口淳治
川口町助役 大淵鉄太郎
川口町収入役 石坂久平

総務課	課長 山田彦作、広井市郎、古田島博英、川上敏夫、山田康子、広井光代、喜多村綾子、山田正子
社会課	課長 佐藤精一、関口治郎、佐藤与司男、中林良男、水野トミ、関 ユリ、中林サト、森山ミツ、小宮山シズ
産業土木課	課長 橋井義治、真島早苗、関 玉男、古田島友一郎、桜井仁夫、山田タツイ、野口和幸、窪田セツ、鈴木 融
税務課	課長 岡村賢吾、大淵卓司、甲野 勇、桜井文夫、岡村圭子
教育課	教育長 真島五郎、主事 山田栄作
支所	大淵 稔、大淵千鶴、佐藤 昇
森林組合	森山恒治、森山セツ子
診療所	所長 七海清徹、関 ムツ、関 イシ、山田令子、覚張千代野